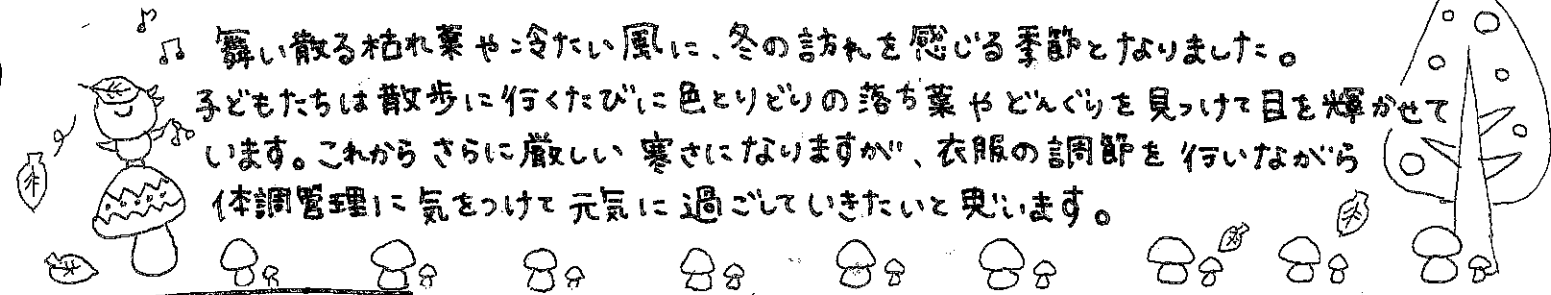


# しいのみ たんぽぽみず

## クラスだより

2024.11.29 円町まるね隣保園



舞い散る枯れ葉や冷たい風に、冬の訪れを感じる季節となりました。  
子どもたちは散歩に行くたびに色とりどりの落ち葉やどんぐりを見つけ目を輝かせています。これからさらに厳しい寒さになりますが、衣服の調節を行いながら体調管理に気をつけて元気に過ごしていきたいと思っております。

### しいの実ぐみ

今月からお友だちが2名増え、5名となりました。  
新しいお友だちは登園時、保護者の方との離れ際やあそびの途中に涙が出ていましたが、少しずつ慣れ笑顔が見られるようになり、おもちゃを出して機嫌良く過ごせるようになってきました。  
新しいお友だちが泣いていると、他のお友だちが背中をトントンしたり、頭をなでたりとほほ笑ましい姿が見られました。  
気候が寒くなり、咳や鼻水が出ていることもありますが、毎日笑顔いっぱい！元気いっぱい！！で過ごしています。

### 😊お兄さんお姉さんクラスのお友だち😊

毎月、他クラスとの交流日を作り、散歩へ行ったり室内で一緒にあそんでいます。どのクラスのお友だちもしいの実組の子もたちが行くと「おいでー」「これよ」「いっしょにあそび」など優しく声をかけてくれ、手をたないたり、あそびに誘ってくれたりしています。  
大きいクラスのお友だちのしていることを見て、鉄棒にぶら下がりしたり、横に座って絵本を見たり、「私も」と良い刺激をもらいながら笑顔で楽しく過ごしています。  
歩くことが楽しくて、散歩先や園庭でもあちらこちら歩いたり、石や葉っぱ、どんぐりなど秋の自然物を拾うなどして季節の移り変わりを感じています。

### ♡食べるのが大好き♡

保育者が給食やおやつ準備をしていると、その姿を見て「早く早く」と言わんばかりに自分の席の方まで来てスタンバイする子どもたち。食事の挨拶は「にこにこ」しています。  
どのお友だちも意欲的に自分で手掴みして食べています。しゃもじ噛むことや一口量を今にかけながら、ゆたゆたとした雰囲気の中、楽しく食事ができるように心がけています。  
またコップやスープコップを自分で持って飲むようにしています。衣替えが難しくなることもあります。両手どしかり持って口まどの角度や口から離すタイミングなど、見守りながら必要に応じて手助けしています。

お家からの様子もまた教えてくださいね！！



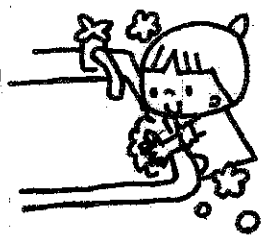
### たんぽぽみ

冬が近づくにつれ、寒くなってきました。クラス内で感染症が流行った時もありましたが、徐々に落ち着き皆元気に過ごしています。

最近では、収穫感謝祭もあり、家庭から持ってきていただいた野菜を皆で見ました。乳児クラスは野菜や食べ物マークなので、より身近に感じられ、自分のマークの野菜があれば「これ〇〇のやさい」と言っている姿もありました。野菜丸々の大きさや手触り、匂いをいっぱい感じられたと思います。

また、散歩ではみんなが手を繋いで園周辺を歩きました。友だちと手が離れないように保育者が「きゅっと繋いでね」と言うと同じように「きゅ！」と言って放すことも少なくなってきました。しかし、まだまだ周りを見ることは難しく、道の真ん中に行きそうになることもあるので、保育者の見守りの中、道の端を歩きながら、みんなと手を繋いで歩く経験をこれからもしていきたいと思っております。

11月から給食とおやつの前に手洗いを始めました。最初は水道のところで遊んでしまうこともありましたが、徐々に石けんをつけ、水で洗い、最後に消毒をつけるという流れが分かってきたように感じます。今は一つ一つのことを丁寧に伝えながら、手を洗ってきれいになった気持ちよさを感じられればと思っています。



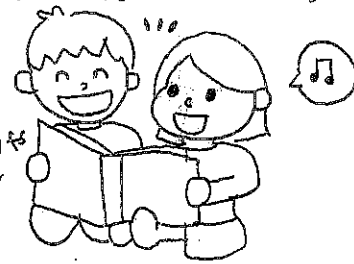
子どもたちも出来ることが増え、今は自分でやりたい真っ只中です。出来た時の嬉しそうな表情を見ると保育者も元氣になります。自分でやりたい気持ちや自我が強くなり、言われたこと全てに「イヤ！」と答えてみるイヤイヤ期の子もいます。イヤイヤで大変な

時期もありますが、子どもの成長を感じ、気持ちに寄りそい受け止めてもらい、自分で選ぶきっかけを作っていく、自信や自己肯定感の高まりに繋がっていくようにと思っています。

### みずぐみ

#### 友だちとの関わりで成長しています😊

4月当初は、一人遊びがメインで一緒に遊んでいるように見えても別のことをしていることが多かった子どもたち。トランプの原因も玩具を取られたことなど取り合いがほとんどでした。ですが「最近になり、気の合う友だちを誘って遊ぶ姿や同じ遊びを楽しむ姿が見られるようになってきました。玩具の取り合いはまたまたありませんか？今までと違って「じゃあ、じゃあこれね」「あてね」や沢山もっている中から「一つどうぞ」などやりとりが見られます。自分の「こうしたい」という思いをぶつけるだけでなく、たてから、こうして言葉のやりとりができるようになったことで、少しずつ納得できるようになり、子ども同士で貸し借りが上手いく姿も増えてきました。



玩具の取り合いばかりではなく「一緒に遊びたかった」という場面や一緒に遊ぶ中で「イメージの違い」からぶつかり合う姿もあります。友だちとの関わりが増えて距離感が近くなった分、こうした姿も見られますか？子どもたちはこうして思いをぶつけ合う経験を通して自分とは違う「相手の気持ち」を知っていき成長していきます。

園では子ども同士のやりとりを見守ることも大切にしつつ、お互いの気持ちを知ることができるようお手伝いしています。その時は思い通りにいかなくても色々な気持ちがあることを知っていき、子ども同士で思いを伝え合って解決できるようになっていってほしいと思っております。

